

議事録名：平成 28 年 2 月度 介護医療連携推進会議			
日 時	平成 28 年 2 月 20 日 (土) 13:30~14:30:	議事録	2 月 21 日
場 所	潤生園れんげの里 1 階 研修室		書記：L
出席者	<input type="checkbox"/> A 様 (民生委員児童委員協議会 東富水地区会長) <input type="checkbox"/> B 様 (第三地区地域包括支援センター センター長) <input checked="" type="checkbox"/> C 様 (医療法人武井内科医院 医師) <input type="checkbox"/> D 様 (小田原医師会訪問看護ステーション 看護師 管理者) <input type="checkbox"/> E 様 (潤生園訪問看護ステーション) <input type="checkbox"/> F 様 (ご利用者様のご家族) <input type="checkbox"/> G 様 (小田原医師会訪問看護ステーション) <input checked="" type="checkbox"/> H 様 (潤生園居宅介護支援センター 管理者) <input checked="" type="checkbox"/> I (社会福祉法人小田原福社会 常務理事) <input checked="" type="checkbox"/> J (潤生園訪問サービスセンター センター長) <input type="checkbox"/> K (潤生園 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 管理者) <input type="checkbox"/> L (潤生園 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 計画作成担当者) 以上 出席者 8 名		
	□出席、■欠席		
資 料	平成 28 年 2 月度 会議次第、 平成 27 年度 運営状況実績票、 平成 27 年度 居宅介護支援事業所へアンケート調査の結果 兵庫県 定期巡回・随時対応型訪問介護パンフレット ご利用者様からの声		
	以上、当日配付		
議題及び議事内容		議決事項	
1. 運営状況報告 平成 27 年 1 月末日現在 ご利用者 19 名 (実利用者数) 12 月、1 月での新規利用者 4 名 終結 4 名 終結理由としては、老健への入所 1 名、入院 1 名、永眠 1 名、卒業 1 名。 訪問介護員の人員不足の影響で新規利用者 (特に、朝晩の混み合う時間帯) の受け入れが難しい状況。 新規の問い合わせや依頼はあるが、受けられない状況が続いている。 昨年度同時期より、ヘルパー数は、約 2 割減になっている。離職者はあるが、求人募集を行ったり、初任者研修の実習を請け負ったりしても、なかなか採用につながらない状況である。 求人募集に関しては、全く応募がない状況である。			

以上の件について出席者より、

Q. 募集をかけても応募がないのには、何か理由があるのでは？（B様）

なぜ離職してしまうのか？応募がないのか？等の理由をさぐり検討していくべきでは？

A. 離職の直接的な理由なのかは不明だが、人員が減る事により、個々のヘルパーにかかる仕事量が増加し負担は増えてきている。悪循環にはなっている。また、ヘルパーを一人で訪問できるよう育てるには、時間も手間もかかるため、育成のための人員確保も難しくなっている。（K）

Q. 毎週日曜日の求人広告に沢山の介護の仕事の募集が出ている。最近目にするのは、託児所完備とかが載っている。現在、地域では「育ちっこ」と言う活動を開催しています

50人くらい集まることもあり、ママ友が連絡取り合って集まってくる。

保育所に行っている3歳～4歳の母親たちは暇そうにしている感じがした。

その人たちが働けるような環境作りをして雇うのもいいのでは？（A様）

A. 訪問介護は、ヘルパー2級や初任者研修などの資格が必要なため、即戦力として迎え入れるのは難しい。

募集については、来年4月に田島でも定期巡回のサービスをスタートさせるために求人を行うので、そちらの募集と合わせて、人材の確保ができればと思う。（K）

## 2. 平成27年度 居宅介護支援事業所へアンケート調査の結果

昨年（平成27年）12月に居宅介護支援事業所へのアンケート調査を実施した。今後の定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの普及を目的に直接のサービスの依頼者である居宅介護支援事業所のケアマネジャーさんにアンケート調査を実施した。

小田原市内の全居宅介護支援事業所 54事業に対してアンケート調査を行い、回収は27事業所 50%の回収率だった。

資料の説明を行う。

出席者からの意見。

- ・巡回のサービスについて、事例とか実際のサービス内容等があると解かりやすいと思います。OHMY等の集まりで発表できれば、ケアマネさんへの理解も深まると思います。（G様）
- ・定期巡回・随時対応訪問看護の事例検討会を行ったりするのも良いと思います。自分たちの事業所で開催して、そこにケアマネさんも参加してもらえると良いのではと思います。（B様）
- ・検討させて頂き、準備を行い、ぜひ、発表する機会を得たいと思います。また、先月1月16日に小田原市民会館で行われた神奈川県居宅介護支援専門員研究発表会の場で事例を発表させて頂き、その席で、OHMYでもぜひ発表の機会を頂ければというお話しもさせて頂きました。（K）

## 3. その他、出席者からの感想や質問

兵庫県定期巡回・随時対応型訪問看護介護のパンフレット配布（資料③）

< E様 >

人材不足と言われてしまうと何も言いようがないですね。まず体制を整えていかないといけないのでは？

ケアマネさん達も依頼しても今は断られてしまい困っていると思います。

兵庫県は、すごいなと思いました。収益を考えるとなかなかできないことかなと思います。訪問看護が訴えてもどうなる訳でもないと思いますが、ぜひ、神奈川、小田原でも考えて欲しいと思います。

連携のとりかたをうまくやっていかないといけないと思います。

< A様 >

今日も自治会で独居の方がたの食事会を開催しました。

高齢になると軟らかいものを用意するようになるが、おからはよくない、入れ歯に挟まって痛むとの情報がある。食べ物には敏感ですね。

毎月 17 日東富水地区は食事会開催。各エリア（中曽根、堀之内）でも月 1 回食事会開催している。市営住宅は現在、超高齢化になっている。5 階に住んでいる高齢者は外出することが困難になっている。孤独死も増加傾向にある。このような食事会に参加して頂き、声掛等も行い防いでいくことも考えています。超高齢化の時代、認知症、孤独死を民生委員の動きで防いでいこうと考えています。

< B様 >

地域ケア会議を 2 月 4 日～開催し始め、32 名の参加がありました。

意見交換も沢山出まし。民生委員さんのがんばりがよく見えました。

今後も更に協力していきたいと思います。

< D様 >

どこの事業所もヘルパーは不足しているのではと思います。募集をかけても集まらない事は実感しています。ボランティアを上手く利用してはどうでしょうか？朝の訪問や夜の訪問をボランティアさんを利用するとかできるのではないのでしょうか？ボランティアポイント等を付与する形にしてボランティアを集めてみればどうでしょうか？

< K >

潤生園サポーターとして登録制にして活用していく方法もあると思います。また、実現には、ケアマネジャーさんの理解も必要でヘルパーの業務、ボランティアが行う業務と分けてプランを示してもらい必要がある。ヘルパーが行う業務は、公費を使う介護保険なので難しい面も多い。

< G様 >

地域包括が中心となり色々な事を発信していくことで良くなっていくのではと思います。

< F様 >

僕は妻を介護していますが自分の体も限界がきていて毎日大変です。

4. 次回の予定 平成 28 年 4 月 16 日 (土) 13 : 30 ~ 14 : 30 潤生園れんげの里 1F 研修室。			
回 覧			
施設長	副施設長・部長	課長・係長・主任	一般